

右の新聞記事(2019年12月7日掲載)を読んで、問いに答えましょう。

① この記事の日付に注意して、今年(令和2年・2020年)の干支(えと)を3字以内で書きなさい。  
( )

② この記事の内容をふまえ、右の四角(空欄)に、見出しを10字以内で書き入れなさい(句読点は付けない)。  
※小見出しにある「ジャンボ」や「干支」という言葉は使わないようにすること。

③ 記事の写真を見たあなたの感想を30字以上40字以内で書きなさい(句読点を含む)。


←30字

←40字

島田市大代地区の村おこしグループ「王子田会」(片岡幹男会長)が手作りする年末恒例の「ジャンボ干支(えと)」がこのほど完成し、市内外の多くの見物客から注目を集めている。来年の子(ね)年にちなみ、今回はかわいらしいネズミ一家を表現した家族愛たっぷりの作品。来年2月末まで展示する。

同会メンバー13人が約10日間かけて作業に取り組んだ。地元のみならず竹、間伐材を材料に制作し、例年通り同地区の県道81号沿いに設置。一番大きな父親ネズミは全長4・5尺、高さ3・5尺で、母親ネズミとまるで愛を育むかの

## 島田・大代 ジャンボ干支お披露目

ように向かい合って並ぶ。子ネズミ3匹も、木材で繊細に表現した。

制作はこし25回目、徐々に知名度が上がり、リピーターも増えている。浜松市から訪れた佐藤友治さん(82)は「毎年楽しみにしている。こゝとは作品の配置が完璧」と笑顔を浮かべた。

会場では週末を中心に地元農産物などを売る「干支前市」も開かれ、今月中旬ごろからジャンボ干支のカレンダーも販売する。

(島田支局・土屋祐人)  
家族愛たっぷりに表現された今年の「ジャンボ干支」  
|| 島田市大代



2019年 12月7日朝刊

年 組 名前